

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成27年8月5日

**【四半期会計期間】** 第106期第1四半期(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

**【会社名】** 株式会社椿本チェーン

**【英訳名】** T S U B A K I M O T O C H A I N C O .

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 大 原 靖

**【本店の所在の場所】** 大阪市北区中之島三丁目3番3号

**【電話番号】** (06) 6441-0011 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 経営企画センター財務部長 川 崎 加 寸 也  
(連絡場所) 京都府京田辺市甘南備台一丁目1番3号  
(電話番号) (0774) 64-5001

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区港南二丁目16番2号

**【電話番号】** (03) 6703-8400

**【事務連絡者氏名】** 東日本地区総務担当参事 宮 田 雅 之

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第105期 第1四半期 連結累計期間	第106期 第1四半期 連結累計期間	第105期
会計期間	自 平成26年 4月1日 至 平成26年 6月30日	自 平成27年 4月1日 至 平成27年 6月30日	自 平成26年 4月1日 至 平成27年 3月31日
売上高 (百万円)	44,448	48,391	196,738
経常利益 (百万円)	4,780	5,294	22,263
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	3,045	3,288	14,153
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	2,758	4,469	25,659
純資産額 (百万円)	122,668	147,205	144,291
総資産額 (百万円)	227,081	256,559	258,742
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	16.28	17.58	75.65
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	52.6	55.8	54.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、セグメントに係る主要な関係会社の異動は次のとおりであります。

(チェーン、精機、マテハンおよびその他)

当第1四半期連結会計期間において、椿本西日本(株)は、(株)椿本マシナリーを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、わが国においては政府経済政策の効果などにより設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな景気の回復基調の下、堅調に推移しました。海外においても、減速傾向にあった米国経済が回復の兆しを見せ、中国経済の成長は鈍化しているものの、アセアン諸国を中心としたアジア経済が緩やかな拡大を続けました。また、欧州経済にも持ち直しの動きが見られるなど、総じて景気は緩やかに回復しました。

このような状況のもと、当社グループは「中期経営計画2016」の重点課題である、市場ニーズに徹底対応した商品開発やモノづくり、グループ総合力を生かしたビジネスの拡大に取り組むとともに、収益力の強化に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は52,586百万円（前年同期比13.2%増）、売上高は48,391百万円（同8.9%増）となりました。

損益につきましては、営業利益は4,818百万円（同6.0%増）、経常利益は5,294百万円（同10.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,288百万円（同8.0%増）となりました。

なお、セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### [チェーン]

チェーンにつきましては、日本国内において動力伝動用チェーンや搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置などの販売が好調であったことに加え、米国や欧州、環インド洋における搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置などの販売が好調に推移したことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、チェーンの受注高は16,106百万円（前年同期比14.2%増）、売上高は15,773百万円（同8.3%増）、営業利益は1,489百万円（同14.0%増）となりました。

#### [精機]

精機につきましては、日本国内において直線作動機やクラッチの販売が堅調に推移しましたが、中国における減速機の販売が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。

以上により、精機の受注高は5,528百万円（前年同期比0.1%増）、売上高は5,234百万円（同2.8%減）となりましたが、日本国内における原価改善の効果などから営業利益は584百万円（同9.7%増）となりました。

#### [自動車部品]

自動車部品につきましては、日本、米国、欧州、タイ、中国、韓国の各拠点において自動車エンジン用タイミングドライブシステムの販売が好調であったことから、前年同期比で増収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は18,651百万円（前年同期比17.0%増）、売上高は17,637百万円（同8.3%増）となりましたが、中国拠点における新工場開設の準備費用増加などから営業利益は2,947百万円（同7.2%減）となりました。

#### [マテハン]

マテハンにつきましては、欧州において金属屑搬送・クーラント処理装置などの売上が減少したものの、日本国内における自動車製造工場向けシステムやライフサイエンス分野向けシステム、鉄鋼業界向けシステム、新聞印刷工場向けシステムの売上が増加したことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、マテハンの受注高は11,791百万円（前年同期比14.1%増）、売上高は9,305百万円（同20.3%増）、営業損失は192百万円（前年同期は493百万円の営業損失）となりました。

#### [その他]

その他の受注高は507百万円（前年同期比8.2%減）、売上高は441百万円（同6.7%減）、営業利益は7百万円（同55.0%減）となりました。

### (2) 財政状態

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2,182百万円減少し、256,559百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が1,594百万円増加した一方、譲渡性預金の減少などにより有価証券が5,919百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して3,945百万円減少し、112,673百万円となりました。

固定資産は、保有株式の時価上昇などにより投資その他の資産が1,467百万円増加したこと、生産設備への投資などにより有形固定資産が627百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して1,763百万円増加し、143,886百万円となりました。

#### (負債)

負債は、未払法人税等が3,250百万円減少したこと、賞与引当金が1,724百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して5,096百万円減少し、109,354百万円となりました。

#### (純資産)

純資産は、利益剰余金が1,604百万円増加したこと、保有株式の時価上昇などによりその他有価証券評価差額金が892百万円増加したこと、為替の変動により為替換算調整勘定が257百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して2,914百万円増加の147,205百万円となり、自己資本比率は55.8%となりました。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、999百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	299,000,000
計	299,000,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成27年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年8月5日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	191,406,969	同左	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら限定のない当 社における標準となる株式 単元株式数 1,000株
計	191,406,969	同左	—	—

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成27年4月1日～ 平成27年6月30日	—	191,406	—	17,076	—	12,671

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成27年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 4,311,000	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 186,266,000	186,266	—
単元未満株式	普通株式 829,969	—	1単元（1,000株）未満の株式
発行済株式総数	191,406,969	—	—
総株主の議決権	—	186,266	—

（注） 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式895株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成27年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社椿本チェーン	大阪市北区中之島 三丁目3-3	4,311,000	—	4,311,000	2.25
計	—	4,311,000	—	4,311,000	2.25

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）および第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年 6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,504	19,098
受取手形及び売掛金	47,338	47,487
有価証券	12,020	6,100
商品及び製品	15,320	15,641
仕掛品	10,342	10,707
原材料及び貯蔵品	7,911	7,754
その他	6,598	6,284
貸倒引当金	△416	△401
流動資産合計	116,619	112,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,555	26,155
機械装置及び運搬具（純額）	28,640	28,933
工具、器具及び備品（純額）	2,939	3,007
土地	37,700	37,699
建設仮勘定	5,778	6,444
有形固定資産合計	101,613	102,240
無形固定資産	5,132	4,801
投資その他の資産		
投資有価証券	27,245	28,573
その他	8,270	8,411
貸倒引当金	△139	△140
投資その他の資産合計	35,376	36,843
固定資産合計	142,122	143,886
資産合計	258,742	256,559

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,902	24,937
短期借入金	9,722	9,122
1年内返済予定の長期借入金	2,038	1,879
未払法人税等	4,158	907
賞与引当金	3,983	2,259
工事損失引当金	81	36
その他	13,548	14,963
流動負債合計	59,435	54,106
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,146	15,006
役員退職慰労引当金	132	98
退職給付に係る負債	12,269	12,250
資産除去債務	245	246
その他	17,220	17,644
固定負債合計	55,014	55,247
負債合計	114,450	109,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,658	12,658
利益剰余金	103,183	104,787
自己株式	△2,055	△2,059
株主資本合計	130,862	132,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,882	11,775
繰延ヘッジ損益	25	△44
土地再評価差額金	△10,892	△10,892
為替換算調整勘定	10,101	10,358
退職給付に係る調整累計額	△540	△502
その他の包括利益累計額合計	9,576	10,694
非支配株主持分	3,851	4,047
純資産合計	144,291	147,205
負債純資産合計	258,742	256,559

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	44,448	48,391
売上原価	30,840	33,602
売上総利益	13,608	14,788
販売費及び一般管理費	9,060	9,970
営業利益	4,547	4,818
営業外収益		
受取利息	36	34
受取配当金	315	435
その他	165	177
営業外収益合計	517	647
営業外費用		
支払利息	108	75
支払手数料	11	40
その他	165	55
営業外費用合計	284	171
経常利益	4,780	5,294
特別利益		
受取保険金	32	-
特別利益合計	32	-
特別損失		
投資有価証券評価損	44	-
特別損失合計	44	-
税金等調整前四半期純利益	4,767	5,294
法人税、住民税及び事業税	1,090	1,141
法人税等調整額	556	803
法人税等合計	1,647	1,945
四半期純利益	3,120	3,349
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	61
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,045	3,288

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	3,120	3,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	850	893
繰延ヘッジ損益	0	△70
為替換算調整勘定	△1,246	257
退職給付に係る調整額	48	37
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	1
その他の包括利益合計	△362	1,120
四半期包括利益	2,758	4,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,764	4,406
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	63

## 【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、椿本西日本(株)は(株)椿本マシナリーを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更等)

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。 )、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。 )等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

### 1 保証債務

関係会社の借入金および従業員の住宅借入金に対する債務の保証額は、次のとおりであります。

#### (1)関係会社

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
椿本美英蘭輸送機械(上海)有限公司	128百万円	62百万円

#### (2)従業員

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
	60百万円	56百万円

### 2 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
	58百万円	58百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
減価償却費	2,282百万円	2,471百万円
のれんの償却額	119百万円	133百万円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	1,122	6.0	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	1,683	9.0	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,569	5,383	16,285	7,737	43,975	472	44,448	—	44,448
セグメント間の内部 売上高又は振替高	330	104	—	4	440	196	636	△636	—
計	14,900	5,488	16,285	7,741	44,415	669	45,084	△636	44,448
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	1,307	532	3,176	△493	4,522	16	4,538	8	4,547

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額8百万円には、セグメント間取引消去50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△41百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,773	5,234	17,637	9,305	47,950	441	48,391	—	48,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	343	80	—	23	448	211	660	△660	—
計	16,117	5,315	17,637	9,329	48,398	652	49,051	△660	48,391
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	1,489	584	2,947	△192	4,828	7	4,836	△17	4,818

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△17百万円には、セグメント間取引消去50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△68百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円28銭	17円58銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	3,045	3,288
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	3,045	3,288
普通株式の期中平均株式数(千株)	187,113	187,092

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。